

将来の働き方と生き方：若者達の選好

村田千紗

指導教員 小谷浩示

研究背景

現代社会では働き方と生き方の多様性が広く認知され、各々、**work-as life vs. work-life balance**、**individualistic-life style vs. social-life style** と云う選好軸が存在する。しかし、既存研究において、若者達がどの様な働き方と生き方を将来望んでいるのか、その選好分析は行われていない。

研究目的

本研究では、現代の若年層に焦点をあて、彼らの希望する将来の働き方や生き方の選好を明らかにすることを目的にする。

研究方法

働き方と生き方についてシナリオを分類し、日本人の若年層を対象に、オンラインによる選択型調査を実施し、関連データを収集しロジスティック回帰分析をした。

分析結果

家族愛着が高い若者程、**work-life balance** の働き方を望む事、一方、家族愛着が高く人生の意義を明確に理解している若者でも **social-life style** の生き方を選好しない事が分かった。

考察・結論

多くの若者が人と繋がる社会的生活を望み、家族への愛着の度合いが働き方の選好を決める傾向にあると解釈出来る。現在、少子化や人口減少を止める事が出来ないのは、若者の結婚し家庭を持ち、人と繋がる社会的生活を営みたいと云う将来選好の実現がどの様な働き方でも達成困難な日本の経済・社会状況を物語っているとも考えられ、社会が抱える少子化問題の根本的な解決に向けたものを示唆するものである。